

第74回全日本実業団卓球選手権大会 実施要項

(※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください)

- (1) 名称 第74回全日本実業団卓球選手権大会
- (2) 期日 2024年9月19日(木)～22日(日)
- (3) 会場 サイデン化学アリーナさいたま (さいたま市記念総合体育館)
JR浦和駅またはJR中浦和駅またはJR西浦和駅から、バスで桜区役所下車
〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1 TEL: 048-851-5050
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会、一般社団法人日本卓球リーグ実業団連盟
- (5) 主管 一般社団法人埼玉県卓球協会
- (6) 後援 厚生労働省、埼玉県、埼玉県教育委員会、(公財)埼玉県スポーツ協会、さいたま市、(公財)さいたま市スポーツ協会、埼玉新聞社
- (7) 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
- (8) 試合方法
- ① チームは監督1名、コーチ1名、選手4名～6名を登録し(監督のみでコーチがいないチーム編成を認める)、4シングルス・1ダブルスで編成し、3番目にダブルスをおき、3点先取法により行う。また、各選手は単複に重複して出場することができるが、1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。
- ② 外国籍の選手は全種目とも、各試合で単・複いずれか1回のみでの出場とする。
- ③ 競技は、第1ステージはリーグ戦(男子は原則3チームリーグ、女子は8ブロックとし、原則4チームリーグとする)、男女とも第2ステージはトーナメントで行う。但し、男子は推薦出場の上位8チームのみ、第2ステージから出場する(欠員が生じた場合は、組合せ委員会で決定し補充する)。また、女子は全チームとも第1ステージから出場する。なお、女子は33チーム以上参加の場合は原則3チームリーグとする。第1ステージはシングルス・ダブルスともに3ゲームマッチ、第2ステージはシングルス5ゲームマッチ・ダブルス3ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程 (参加チーム数により変更あり)
- 9月 18日(水) 13:00～17:00(予定) 前日受付 ※受付は当日も行います
13:30～17:00(予定) 前日練習
- 19日(木) 11:00～ 開会式
12:00～ 男子:第1ステージ
- 20日(金) 9:00～ 男子:第1ステージ、第2ステージ1～2回戦
女子:第1ステージ、第2ステージ
- 21日(土) 9:00～ 男子:第2ステージ3回戦～準々決勝
女子:第2ステージ準々決勝まで
- 22日(日) 9:00～ 男女:準決勝～決勝
15:00～ 表彰式、閉会式
- (10) 競技ルール
- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② テーブルはグリーンまたはブルーを使用する。
- ③ 使用球は、JTTA公認プラスチック球;40mmホワイトのみとする。
- ④ ゼッケンは2024年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ⑤ 競技用のユニフォームは(公財)日本卓球協会の公認マークがついたものとし、競技用シャツは明らかに異なった色のものを2着以上持参すること。
- ⑥ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑦ 運営上必要であれば、2台進行とする。
- (11) 参加資格
- ① 各都道府県の子選を勝ち抜いたチームならびに推薦出場チームを構成する選手は2024年度(公財)日本卓球協会選手登録をし、監督・コーチは2024年度(公財)日本卓球協会役職者登録をすること。監督・コーチは必ず役職者章を大会時、腕に付けること。選手は段級制規程(注1参照)に定められた有段者とする。なお、監督・コーチ・選手の追加変更は、原則として所属都道府県卓球協会・連盟を通して手続きすること。ただし、直前で追加変更が生じた場合は、男子は開会式まで(第2ステージから出場するチームは大会3日目の9時まで)に、女子は大会2日目の9時までには受付にて手続きすること(予定)。

- ② チーム編成は、原則として同一都道府県内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校（以下団体という）単位とし、2024年4月30日以前から引続き当該団体に正社員、正職員、契約社員（1年以上の契約）または嘱託（1年以上の契約）として勤務（所属）している加盟会員とする。（学校の場合、学生、生徒を除く）
- ③ 同一都道府県内の同一団体から複数チームが参加することは認められない。同一都道府県においてチーム名にA、Bなどを冠した団体は、同一団体とみなす。
- ④ ②の条件でチーム編成ができない場合、同一都道府県内および他都道府県にある同一名称のつく支局・支社および各工場等とチームを統合してもよい。その場合、他都道府県登録選手2名までをチームに加えることを認める。ただし、その選手の本来所属している団体が大会出場（予選会を含む）している場合、関連他チームへ加わることはできない。また、予選会で敗れたチームからの補充はできない。
- ⑤ ④を適用する団体は、各都道府県の予選会および本大会への申込書にその旨を明記すること。
- ⑥ 各都道府県代表は、各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたチームであること。
- ⑦ 推薦出場チーム
日本リーグ男女1部・2部の全チーム、前回大会の男子ベスト32以上のチームおよび女子ベスト16以上のチームとする。
- ⑧ 種目にかかわらず、複数のチームで同一監督が登録することはできない。

(12) 参加数 別表の推薦出場チームを除いて、各加盟団体の代表チーム数を下記の通りとする。

	都 道 府 県	代表チーム数
男 子	埼玉（開催地）、東京、神奈川、大阪	5
	上記以外の道府県	3
女 子	埼玉（開催地）、東京	5
	上記以外の道府県	3

(13) 参加料 1チーム 50,000円

(14) 申込方法 大会申込システムを使用して申し込むこと。なお、主管地へはデータを本会よりメールで送付する。参加料は、加盟団体より①現金書留または②振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

① 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931

② 振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No5337 公益財団法人日本卓球協会

(15) 申込締切 2024年7月22日(月)までに申込手続きを完了すること。
申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) その他

- ① 監督会議は行わない。連絡事項は本会ホームページにて書面（諸連絡）で通知する。
- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛へ指定用紙にて連絡すること。
- ③ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ④ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑤ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細は本会ホームページをご確認ください。

【別表】第74回（2024年度）全日本実業団卓球選手権大会推薦出場チーム

※下表の他、日本リーグ1部・2部に所属するチームは推薦出場となる。

男 子			女 子		
1	日鉄物流ブレイザーズ	(和歌山)	1	デンソー	(静岡)
2	シチズン時計	(東京)	2	中国電力ライシス	(広島)
3	ファースト	(千葉)	3	サンリツ	(東京)
4	クローバー歯科カスピッズ	(大阪)	4	十六フィナンシャルグループ	(岐阜)
5	日野キングフィッシャーズ	(東京)	5	エクセディ	(三重)
6	日製日立	(茨城)	6	オークワ	(和歌山)
7	TOKYO GAS	(東京)	7	キャノンメディカルシステムズ	(東京)
8	岡谷市役所	(長野)	8	四国銀行	(高知)
ベ ス ト 16	ケアリッツアンドパートナーズ	(東京)	ベ ス ト 16	松戸市役所	(千葉)
	松戸市役所	(千葉)		百十四銀行	(香川)
	瀬戸内スチール	(広島)		北伊勢上野信金	(三重)
	信号器材株式会社	(神奈川)		鹿児島相互信用金庫	(鹿児島)
	NTT東日本 東京	(東京)		愛媛銀行	(愛媛)
	関西卓球アカデミー (株) 栃木銀行 (株) 三五	(大阪) (栃木) (愛知)		広島日野自動車 豊田自動織機 レゾナック	(広島) (愛知) (茨城)
ベ ス ト 32	豊田自動織機	(愛知)			
	フジ	(愛媛)			
	湘南信用金庫	(神奈川)			
	鹿児島相互信用金庫	(鹿児島)			
	トヨタ紡織東北(株)	(岩手)			
	トヨタ自動車	(愛知)			
	JR北海道	(北海道)			
	ケアリッツ大阪	(大阪)			
	日本製鉄名古屋	(愛知)			
	東芝	(神奈川)			
	岐阜信用金庫	(岐阜)			
	東京海上日動	(東京)			
	JR東日本高崎	(群馬)			
	ケアリッツ・テクノロジーズ	(東京)			
日本製鉄大分	(大分)				
藤ミレニウム	(大阪)				

注1) 段級制規程要約（出場回数）

段位取得について（2023年3月の理事会で承認された段級制規程改定に基づく）

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部） ③全日本選手権大会（一般・ジュニアの部）
④全日本選手権大会（団体の部） ⑤全日本実業団選手権大会 ⑥全日本選手権大会（ダブルスの部）

上記6大会に出場する者は、2024年度以降の大会出場は有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。